

中小企業振興会議提言・報告に基づく  
H29中小企業振興施策実施状況報告

平成30年7月  
経済部



# 東大阪市第2次総合計画後期基本計画

## 部門別計画 第4部 活力ある産業社会を切り拓くまちづくり

### 第21節 モノづくりが元気なまち

- 4-21-1 モノづくり企業の高付加価値化を支援します
- 4-21-2 「モノづくりのまち東大阪」を次の世代に引き継ぎます
- 4-21-3 モノづくり企業の販路開拓を応援します
- 4-21-4 地域経済の連携、交流に取り組みます

### 第22節 買い物しやすいまち

- 4-22-1 特色ある商業集積地域づくりを支援します
- 4-22-2 「元気な店舗グループ」の活動を支援します
- 4-22-3 地域資源の活用で集客力を強化します
- 4-22-4 安心して快適に買い物ができる環境づくりを進めます

### 第23節 農業と農地空間を大切にすまち

- 4-23-1 安全で新鮮な農産物を消費者に届けます
- 4-23-2 東大阪市の特産物を地域ブランドとして発信します
- 4-23-3 農業と農地空間の担い手を育てます
- 4-23-4 農地空間の持つ価値や機能を生かします
- 4-23-5 有害鳥獣被害への対策を進めます

## 第24節 産業活動にとって魅力のあるまち

- 4-24-1 居住環境と工場の操業環境の共生を進めます
- 4-24-2 金融面から産業活動を支援します
- 4-24-3 経済施策情報を分かりやすく発信します
- 4-24-4 クリエイション・コア東大阪を有効に活用します

## 第25節 雇用が安定し、働きやすいまち

- 4-25-1 働きがいのある労働環境づくりを支援します
- 4-25-2 安心して働ける労働環境づくりを支援します
- 4-25-3 若者の就業を応援します
- 4-25-4 就職に困っている人の雇用を促します
- 4-25-5 高齢者の生きがい就労を応援します

## 第2部 市民文化を育むまちづくり

### 第8節 多くの国・地域や人の交流が育まれるまち

- 2-8-5 東大阪市の魅力をつくり、発掘し、発信します

# 平成27年度東大阪市中企業振興会議～東大阪市の中小企業振興に関する提言（概要）

## モノづくり支援施策のあり方検討部会

### モノづくり支援再興戦略

1. 小規模企業にきめ細かく光を当てた支援
2. モノづくり支援策を“つなぐ”橋渡しの強化



### モノづくり支援施策の4本の柱と重点施策

- ①高付加価値化に向けた支援の強化  
【重点施策】  
成長分野への参入と企業間等の連携支援を強化
- ②モノづくり人材の育成・確保、事業承継の促進  
【重点施策】  
モノづくり人材育成の強化と円滑な事業承継支援策の検討・実施
- ③操業環境の維持・確保  
【重点施策】  
住工共生のまちづくりの更なる進展に向けた優遇策等の充実
- ④販路開拓支援の充実  
【重点施策】  
モノづくり企業に対する販路開拓の一貫した支援

## 地域商業の魅力と活力の再生検討部会

### 商店街と地域との連携のあり方

商店街自身の推進力が低下している現況下、市内の中小小売業、商業集積地を活性化し、持続可能なものとする



### 必要な支援

地域における課題や特性に応じて様々なスタイルで関を強化することで、商業集積地の魅力と活力の再生を図っていく。

- ①「議論する場」から「協働する場」へ、関係者間の信頼関係とパートナーシップの構築支援
- ②連携先へのアプローチ支援やコーディネーター的な支援
- ③互いに有用な情報の共有および外部へ係者をつなぐ、連携機能の情報発信

### 地方における観光による経済活性化

商業への経済波及効果の高い観光振興を通じ、縮小する地域内需を補う外需を取り込む



### 必要となる対策

- 東大阪市の現状把握、来訪者の属性調査など観光統計データの蓄積
- 観光消費を呼び込むためのターゲットの明確化、細分化を通じた訴求力の強化
- 観光振興を推進する「人づくり」、「組織づくり」、「ビジョンづくり」
- 観光関連団体が集まるプラットフォームづくりとコーディネート機能を担う行政の役割強化

## 農業振興検討部会

### 都市農業振興への提言

- 高齢化する農家、減少する農地、増える休耕地からどう農地を守り、振興につなげられるか
- 休耕地の活用 ●農産物のブランド化 ●ラグビーワールドカップ2019開催に向けた、農の取組み



### 5つの施策方向と今後の取り組み

- ①東大阪の農を特徴づける農産品とファームマイルージ運動によるエコ農産物を更に推進し、本市の魅力アップをアピール
- ②ファームマイルージ運動、農業振興啓発事業の更なる拡充・発展
- ③農地の保全、休耕地対策として菜の花・レンゲの栽培と防災農地制度の確立・推進
- ④援農ボランティア養成講座
- ⑤(仮称)農家サポーターハンクシステムの構築

# 平成28年度東大阪市中企業振興会議～東大阪市の中小企業振興に関する報告（概要）

## モノづくり部門会議

### 円滑な事業承継に向けて

「円滑な事業承継支援策の検討・実施」にむけて、調査及びあり方を検討

### 円滑な事業承継の促進

#### 【円滑な事業承継の促進に向けて、支援策を講じる】

- ①相談窓口の強化  
ワンストップ機能の強化
- ②事業承継セミナー開催  
現経営者セミナーや後継者向けのシニア型セミナーを開催
- ③フォローアップ調査と事例レポートの作成  
事業承継調査などのフォローアップ調査を実施し、事業引継の事例を創出

#### 【モノづくり企業の技術の継承を側面からサポートする事業】

1. 高度な加工技術を有する企業の発掘と情報発信  
モノづくり企業の高度な加工技術調査を行い、企業情報を発信
2. モノづくりを担う多様な人材確保  
(若者、女性、高齢者等)  
モノづくり企業の魅力を伝え、就職するきっかけづくり

## 地域商業の魅力と活力の再生検討部会

### 東大阪商業振興ビジョンと今後の施策展開

折り返し地点として東大阪商業振興ビジョンを振り返り、今後の施策展開を検討

### 商業振興の新たな視点

やる気ある店舗、元気な事業者、魅力ある個店をつなぐ

「点」から「面」へ、そして市域全体へ

#### 【支援策の活用事例】

商店街の枠を超えた、新たなグループの育成

- (1)商業振興コーディネート事業  
《地域密着型支援の強化》  
《地域資源活用、広域集客型支援の強化》
  - ・小阪まちゼミ
  - ・若江岩田きらりプロジェクト
  - ・個店コーディネート事業
- (2)元気グループコーディネート事業  
《元気グループ推進型の強化》
  - ・布施 三・四会

## 農業振興検討部会

### 都市農業振興への提言

「第1期農政部会の提言」の具現化に向けた検討

### 3つの検討課題の取組

- ①ファーム・マイルージ運動によるエコ農産物を推進  
ファーム・マイルージ運動を知らない層への周知  
農業への関心・理解をより深め、高める事業への展開を図る
- ②防災農地制度の確立・推進  
“花とみどりいっぱい運動”と連携した本市独自のシステム構築
- ③援農システムの構築  
農業後継者、担い手の継承・確保

振興会議の提案にもとづく具体的な施策の構築・推進

「モノづくりが元気なまち」「雇用が安定し働きやすいまち」「買い物しやすい街」「農業と農地空間を大切にすまち」

(中小企業振興条例)

地域経済を活性化し豊かで住みよいまちの実現

(総合計画後期基本計画)

活力ある産業社会を切り拓くまちづくりの実現

(東大阪第2次総合計画 将来都市像)

「夢と活力あふれる 元気都市・東大阪」

## 【様式の見方】

所属	所属名を記載
----	--------

No.	通しNo.
-----	-------

事業名	事業名を記載	平成29年度 目標達成度
事業概要	事業全体の大まかな内容について記載	目標①、②の達成度に対して、目標が1つの場合は、A:8~7点、B:6~5点、C:4~3点、D:2点として目標達成度を記載。目標が2つの場合はA:4点、B:3点、C:2点、D:1点として、8~7点=A、6~5点=B、4~3点=C、2点=Dとして目標達成度を記載

H28 決算	H28決算額を記載	H29 決算	H29決算額を記載
-----------	-----------	-----------	-----------

提言・報告 施策	東大阪市中小企業振興会議より提案・報告された施策(4頁)に対応する施策番号を記載
-------------	--

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
第4次実施計画体系に該当する箇所の部・節・取り組みのあらまし番号を記載		

指標①	事業を客観的に評価するための基準を記載				指標②	同左			
指標の 説明・計算式	指標の説明・計算式等を記載				指標の 説明・計算式	同左			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	各年度の目標を記載			平成29年度目標に対する達成度を記載。(100%=A、80~100%未満=B、50~80%未満=C、50%未満=D)	目標②	同左			
実績①	各年度の実績を記載				実績②				
事業実績 (平成29年度)	平成29年度の取り組み内容を記載								
課題・問題点	平成29年度に取り組んだ改善策のうち、主に実施できなかった内容や、事業実績に記載した内容を実施する中での課題・問題点を記載								
平成30年度に向けた改善策	上記の課題や問題点を具体的にどのように改善していくかを記載								

東大阪市中小企業振興会議からの提言・報告を踏まえて平成29年度に実施された施策一覧

平成27年 東大阪市の中小企業の振興に関する提言		(評価A・Bの割合 66.7%)	
モノづくり支援施策あり方検討部会		(同割合 52.9%)	
【モノづくり支援再興戦略】			
I. モノづくり支援施策の4本の柱と重点施策			
① 高付加価値化に向けた支援の強化	達成度	掲載頁	
医工連携プロジェクト創出事業	A	5	
東大阪デザインプロジェクト事業	C	5	
高付加価値化支援事業	D	6	
産業財産権活用支援事業	C	6	
② モノづくり人材の育成・確保、事業承継の促進			
次世代モノづくり啓発事業	B	7	
ビジネスセミナー開催経費	A	7	
モノづくり開発研究会支援事業	B	8	
モノづくり若年者等就業支援事業	C	8	
市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	D	9	
③ 創業環境の維持・確保			
モノづくり立地促進補助事業	A	9	
住工共生のまちづくり事業	A	11	
④ 販路開拓支援の充実			
東大阪デザインプロジェクト事業	C	5	
クリエイション・コア常設展示場出展支援事業	C	10	
国内外販路拡大事業	A	11	
東大阪市技術交流プラザ事業	B	11	
東大阪ブランド推進事業	D	12	
モノづくりワンストップ推進事業	A	12	
地域商業の魅力と活力の再生検討部会 (同割合 66.7%)			
II. 商店街と地域との連携の在り方			
① 「議論する場」から「協働する場」へ、事業者間の信頼関係とパートナーシップの構築関係	達成度	掲載頁	
商業振興コーディネーター事業	A	13	
地域密着型支援事業	C	13	
② 事業者間連携についてのアプローチ支援やコーディネーター的な支援			
商業振興コーディネーター事業	A	13	
農業振興検討部会 (同割合 100.0%)			
III. 都市農業振興への提言			
5つの施策方向と今後の取り組み			
① 東大阪の農を特徴づける農産品とファームマイルージ運動によるエコ農産物を更に推進し、本市の魅力アピール	達成度	掲載頁	
都市農業活性化農地活用事業	A	15	
農業啓発推進事業	A	16	
② ファームマイルージ運動、農業振興啓発事業の更なる拡充・発展			
農業啓発推進事業	A	16	
③ 農地の保全、休耕地対策として菜の花・レンゲの栽培と防災農地制度の確立・推進			
都市農業活性化農地活用事業	A	15	
ファーム花いっぱい咲かそう事業	A	16	
④ 援農ボランティア養成講座			
農業啓発推進事業	A	16	
⑤ (仮称)農家サポーターハンクシステムの構築			
農業啓発推進事業	A	16	

平成28年 東大阪市中小企業振興会議最終報告		(評価A・Bの割合 92.8%)	
モノづくり部門会議		(同割合 100.0%)	
VII. 円滑な事業承継に向けて			
① 相談窓口の強化:ワンストップ機能の強化	達成度	掲載頁	
モノづくりワンストップ推進事業	A	12	
② 事業承継セミナー開催:現経営者セミナーや後継者向けのシリーズ型セミナーを開催			
ビジネスセミナー開催経費	A	7	
③ フォローアップ調査と事例レポートの作成:事業承継調査などのフォローアップ調査を実施し、事業引継の事例を創出			
事業承継フォローアップ調査事業	A	14	
地域商業の魅力と活力の再生検討部会 (同割合 83.0%)			
V. 東大阪市商業振興ビジョンと今後の施策展開			
やる気ある店舗、元気な事業者、魅力ある個店をつなぐ「点」から「面」へ、そして市域全体へ			
① 商店街の枠にとらわれない新たなグループへの支援	達成度	掲載頁	
商業振興コーディネーター事業	A	13	
② 新たな組織を担える人づくりへの支援			
商業振興コーディネーター事業	A	13	
個店経営者育成セミナー事業	A	14	
③ 個店への支援から地域商業全体へ波及する振興策の提供			
空き店舗活用促進事業	C	15	
商業振興コーディネーター事業	A	13	
個店経営者育成セミナー事業	A	14	
農業振興検討部会 (同割合 100.0%)			
VI. 都市農業振興への提言			
3つの検討課題の取組			
① ファーム・マイルージ運動によるエコ農産物を推進	達成度	掲載頁	
都市農業活性化農地活用事業	A	15	
農業啓発推進事業	A	18	
② 防災農地制度の確立・推進			
ファーム花いっぱい咲かそう事業	A	16	
農業啓発推進事業	A	16	
③ 援農システムの構築			
農業啓発推進事業	A	16	

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	1
----	--------------	-----	---

事業名	医工連携プロジェクト創出事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	市内モノづくり企業等で構成される研究会で健康・医療分野への参入へ向けたセミナーなどを開催するとともに、付加価値の高い製品の製造や研究開発を促進するため、事業化をめざす案件に助成金を交付する。	A

H28 決算	4,649千円	H29 決算	7,044千円	提言・報告 施策	I ①			
-----------	---------	-----------	---------	-------------	-----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

4 21 1

指標①	健康、医療、介護分野における開発ニーズ 案件の情報提供数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	10件	15件	15件	A	目標②				
実績①	39件	-	-		実績②				

事業実績 (平成29年度)	<p>(1) 医工連携研究会(市内企業39社 サポート会員14社) 市内企業の企業規模や意向などを動かし、「部品・部材の供給」「試作・設計開発支援」「OEM/ODM」を重点領域に設定。モノづくり企業に不足している「法規制のノウハウ」や「医療機器市場のニーズ把握」「販売ネットワーク」を保有している医療機器製販企業との取引関係構築を目指す「製販ドリブン型」の医工連携を実践。 ●「医療機器企業との取引開始を目指すステップアッププログラム」を実施。 本郷展示商談会(下記参照)の開催に向け、医療機器企業へのプレゼンテーション力の向上や展示会での魅せ方など全5回のプログラムを実施。</p> <p>●本郷展示商談会を開催 医療機器企業の集積地「メディカルヒルズ本郷」にて、大阪の自治体として初めて本郷展示商談会を開催。来場者数140名/ブース来訪者数・名刺交換数 468名/引き合い・商談件数 91件 今後、具体的に取引につながる可能性のある案件数 34件</p> <p>(2) 医工連携創出プロジェクト事業助成金 医療・健康・介護分野の研究や製品開発案件に対し、助成金を交付。助成事業件数:4件。</p> <p>(3) 大阪大学大学院医学系研究科及び医学部附属病院との連携推進協定 昨年度に引き続き、大阪大学が設置した「産学連携・クロスインベーションイニシアティブ」へ自治体として唯一参画。医療現場における課題の情報収集や市内企業の医療分野への参入に役立つネットワークの構築を図った。</p>
改善すべき点	<p>(課題・問題点) ・医療機器市場は、厳しい法規制や独特な商習慣が存在し、特に新たに参入を目指す企業にとっては、非常に障壁が高い市場であることから、具体的なビジネスにつながるまでには長期間を要する。 ・医療機器の都道府県別の製品出荷額からも、圧倒的な東高西低の状況であり、首都圏を中心とし、関東圏の医療機器企業とのネットワークの構築・強化を図っていく必要がある。</p>
平成30年度に向けた改善策	<p>・継続的に医療機器企業とのネットワークを構築・強化していくため、東京で開催される医療機器国際見本市「MedtecJapan2018」への出展や昨年度に引き続き「本郷展示商談会」を開催していく。 ・「医工連携研究会」の会員企業を中心に新たな企業グループを立ち上げる動きがあり、具体的なビジネス案件を呼び込む受注システムの構築に向け、検証を進める。</p>

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	2
----	--------------	-----	---

事業名	東大阪デザインプロジェクト事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	世界的工業デザイナーやクリエイター等との交流を促進することにより、デザインの重要性をPRするとともに、デザインという資源を活かした付加価値の高い製品づくりを促進する。	C

H28 決算	3,000千円	H29 決算	3,400千円	提言・報告 施策	I ①	I ④		
-----------	---------	-----------	---------	-------------	-----	-----	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし

指標①	本プロジェクトを通じたデザイナーとのプロ ジェクト組成数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	2件	3件	4件	C	目標②				
実績①	1件	-	-		実績②				

事業実績 (平成29年度)	<p>デザイナーを講師に迎えてセミナーや交流会などを開催し、市内企業とデザイナーとの交流を図った。また、東大阪デザインプロジェクト製品発表の場として国際見本市「LIVING &amp; DESIGN2017」へ出展し、本事業の成果を発信した。(来場者数:7,351人) さらに、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)によるデザインセミナーを開催し、またJIDA会員のデザイナーによる建築資材関係の製品開発を行った。</p>
改善すべき点	プロジェクトの組成に繋がるよう、補助金以外に具体的な取り組みに対する支援を検討する必要がある。
平成30年度に向けた改善策	セミナー、交流会のあとに、デザイナーが市内企業の工場を訪問してアドバイス等のフォローをするなど、製品開発に関心のある企業に対してさらなる支援を行う。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	3
----	--------------	-----	---

事業名	高付加価値化支援事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	市内中小製造業者が単独または2者以上の共同で行う、新たな産業技術の研究や新製品の開発に向けた活動等に対して補助金を交付し、付加価値の高い製品の製造を促進する。	D

H28 決算	3,966千円	H29 決算	4,691千円	提言・報告 施策	I ①			
-----------	---------	-----------	---------	-------------	-----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	補助金活用件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	10件	10件	10件	D	目標②				
実績①	4件	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	研究開発事業が3件、産学連携事業が1件の計4件を採択。								
改善すべき点	応募件数が伸び悩んでいる。さらなる周知と公募回数増加などに加えて活用しやすい制度設計の検討が必要と思われる。								
平成30年度に 向けた改善策	更なる周知と公募回数増加などを実施するとともに、実施主体である公益財団法人東大阪市産業創造勤労者支援機構と平成31年度に向けた制度設計について協議していく。								

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	4
----	--------------	-----	---

事業名	産業財産権活用支援事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	市内製造業が知的財産の保護および権利化を促進させるため国内で特許権を取得する際の出願審査請求に経費の一部を助成するもの。	C

H28 決算	235千円	H29 決算	429千円	提言・報告 施策	I ①			
-----------	-------	-----------	-------	-------------	-----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし

指標①	産業財産権活用事業補助金の活用				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	10件	10件	10件	C	目標②				
実績①	5件	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	補助金の利用条件が緩和されたこともあり、交付件数が前年に比べ増加した。								
改善すべき点	補助金の周知及び補助対象を現在の特許権以外の産業財産権に拡大するかが検討課題である。								
平成30年度に 向けた改善策	補助金の概要についての周知を図り、注意点や、間違いやすい点について利用者に分かりやすい標記を(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構のHPで行う。								



所属	経済部 モノづくり支援室	No.	5
----	--------------	-----	---

事業名	次世代モノづくり啓発事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	小学校でのモノづくり体験教室の開催や少年少女発明クラブを支援することにより、次代を担う子どもたちのモノづくりに対する興味や関心を高め、将来の産業を担う人材を育成する。	B

H28 決算	教育支援事業 5,742千円 少年少女発明クラブ 568千円	H29 決算	教育支援事業 5,700千円 少年少女発明クラブ 568千円	提言・報告 施策	I②			
-----------	-----------------------------------	-----------	-----------------------------------	-------------	----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

指標①	モノづくり体験教室参加児童数	指標②	発明クラブ活動への参加率						
指標の 説明・計算式		指標の 説明・計算式							
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	5,100人	5,100人	5,100人	B	目標②	80%	80%	80%	B
実績①	5,064人	-	-		実績②	72%	-	-	
事業実績 (平成29年度)	【モノづくり教育支援事業】 のべ75校、178クラス、5,064人が当事業に参加した。 【少年少女発明クラブ】 開催回数26回、のべ564人が参加した。								
改善すべき点	【モノづくり教育支援事業】 材料費の高騰により企業への負担が増えている。 【少年少女発明クラブ】 年度後半になると進学やクラブ活動により参加率が低下してしまう。年度を通して高い参加率を維持して参りたい。								
平成30年度に 向けた改善策	【モノづくり教育支援事業】 今後、受講者数の拡大を図るために、次年度以降については予算の確保に努める。 【少年少女発明クラブ】 年度途中での退会者が出ないよう、1年間を通じて興味を持ってもらえるようなメニュー作りなどを求める。								

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	6
----	--------------	-----	---

事業名	ビジネスセミナー開催経費	平成29年度 目標達成度
事業概要	市内中小企業者の人材育成を積極的に推進し、新分野進出や業務改善、後継者育成等をはかるため、(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構がビジネスセミナー(営業・経営・法律・IT等のテーマ)を開催することを補助する。	A

H28 決算	1,368千円	H29 決算	1,222千円	提言・報告 施策	I②	IV②		
-----------	---------	-----------	---------	-------------	----	-----	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし

指標①	ビジネスセミナー参加数	指標②							
指標の 説明・計算式		指標の 説明・計算式							
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	500社	550社	600社	A	目標②				
実績①	978社	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	34回セミナーを開催し、延べ978名の参加があった。								
改善すべき点	セミナーの内容によって、セミナー終了後に実施しているアンケートの満足度にばらつきがあるため、満足度の更なる向上が求められる。								
平成30年度に 向けた改善策	商工会議所等の他の機関と連携を図り、一年を通じて最大の効果が得られるように事業を進める。今年度も昨年度同様「稼ぐ力」を後押しできるようなセミナーを実施する。								

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	7
----	--------------	-----	---

事業名	モノづくり開発研究会支援事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	市内企業の技術力高度化や研究開発促進を目的としてテーマが設定された2分科会「中堅人材育成・金属コース」「中堅人材育成・高分子コース」により研究会を実施している。それぞれのテーマに基づき機器利用による講習会及び外部講師を招いた座学講習会などを市立産業技術支援センターにおいて実施する。	B

H28 決算	350千円	H29 決算	350千円	提言・報告 施策	I ②			
-----------	-------	-----------	-------	-------------	-----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

4 25

指標①	参加者の満足度(大変満足・満足の割合)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	100%	100%	100%	B	目標②				
実績①	85%	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	中堅人材育成・金属コースの講義および実習を、7回実施。中堅人材育成・高分子コースの講義および実験・実習を7回実施。その他、特別講演・オープン講座を3回開催し、見学会も実施した。								
改善すべき点	講義と実習を行うので、内容のボリュームが大きく、日程を分けてほしいといった意見がある。また、初心者向けのコースを作ってほしいとの意見もあった。								
平成30年度に向けた改善策	30年度からは、コースの再編を行い初心者コースも作った。時間が長いまたは内容を絞って受講したいという要望に応えるため、講義のみ受講できるように運用を変更した。								

所属	経済部 労働雇用政策室	No.	8
----	-------------	-----	---

事業名	モノづくり若年者等就業支援事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	若年者等に対し、モノづくり企業を中心とした就業の機会を提供する。合同企業説明会・面接会および就職セミナーの開催、就職情報誌の市内全戸配布、技能実習と企業での実習を組み合わせた「モノづくり人材育成塾」の開催等の事業を実施する。	C

H28 決算	10,000千円	H29 決算	10,000千円	提言・報告 施策	I ②			
-----------	----------	-----------	----------	-------------	-----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし

3

指標①	モノづくり人材育成塾により就職した人数				指標②	その他の就業支援により就職した人数			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	15人	15人	15人	C	目標②	35人	40人	45人	C
実績①	11人	-	-		実績②	18人			
事業実績 (平成29年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モノづくり人材育成塾 技術コース…技専校での基礎的な技術の習得と企業での実習を併せて実施し、モノづくり企業への就職につなげた。 (期間)平成29年10月2日～11月10日 (場所)大阪府立東大阪高等職業技術訓練校、実習受入協力企業 (参加者数) 14人 (就職者数) 11人</li> <li>・就活応援フェスティバル…就職必勝セミナーと求人企業・事業所合同説明会を併せて実施した。 (日時)平成29年9月8日 13:00～16:00 (場所)布施駅前市民プラザ「夢広場」 (参加企業数) 26社 (参加者数) 71人 (就職者数) 7人</li> <li>・「東大阪スタイル」の発行…モノづくり企業で働く若者や働く人の基礎知識、各所相談窓口等を紹介する冊子を発行し、市内全戸配布するとともに、主要高校、大学、公共施設等に配布した。 (発行日)平成29年8月15日 (発行部数) 202,000部</li> <li>・東大阪モノづくり企業合同就職面接会…モノづくり企業に限定した面接会を開催した。 (日時)平成30年2月9日 13:00～16:00 (場所)布施駅前市民プラザ「夢広場」 (参加企業数) 25社 (参加者数) 88人 (就職者数) 11人</li> </ul>								
改善すべき点	ここ数年の求職者の売り手市場の中で、参加者数の減少が続いており、そのことにより就職者数も伸び悩んでいる。一方で、市内企業は人手不足に悩んでおり、イベントに参加した者が就職できる確率は高くなっている。このことから、参加者数を増やすことが重要な課題となっている。								
平成30年度に向けた改善策	今後もより積極的なPRに努める。								

所属	経済部 労働雇用政策室	No.	9
----	-------------	-----	---

事業名	市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	市内企業の採用状況や雇用ニーズをきめ細かに把握し、新たな雇用ニーズの掘り起こしを図るとともに、学生や子育て世代の女性の就職ニーズとのマッチング事業を行う。	D

H28 決算	12,000千円	H29 決算	23,000千円	提言・報告 施策	I ②			
--------	----------	--------	----------	-------------	-----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	就職をサポートした学生や女性の人数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	100人	125人	125人	D	目標②				
実績①	48人	-	-		実績②				

事業実績  
(平成29年度)

【就活ファクトリー東大阪】での実績 ※以下ファクトリーと記載  
 【新規登録者数】683名【就職決定者数】113名(うち市内企業への就職決定者数48名)【相談件数】666回  
 【セミナー回数】94回【イベント回数】2回(内訳:HW布施との共催1回、東大阪市主催1回-詳細は以下)  
 ※就活応援イベント合同企業説明会「カフェトーク」…合同企業説明会、企業プレゼンテーション、セミナー、適職診断ブース、企業PRコーナー、キャリア相談コーナー等を実施。  
 (日時)平成30年2月7日(水) 11:00~16:00 (場所)グランフロント大阪 うめきたSHIP2階  
 (参加企業数)10社 (参加者数)39人(うち19歳以下:2人、20歳代:25人、30歳代10人、40歳代:2人)  
 ○その他特記事項  
 HW布施との共催で、『JO部活』を合計2回実施。以下概要。  
 ※『チームで就活』をテーマに仲間とともに就活。HW布施とファクトリー双方でバックアップし、就職に結び付ける。合計2回の【参加者数】は14名。そのうち【就職決定者数】は10名となり、大きな成果があった。

改善すべき点

(改善すべき点①)  
 近頃、雇用情勢が好転し、求職者にとって、売り手市場の傾向にある中、モノづくり企業を始めとする市内企業の慢性的に深刻な人手不足を解消すること。

(改善すべき点②)  
 ファクトリーは平成29年7月24日(月)のオープンから利用者の数値は右肩上がりに上昇しているが、メインターゲットである学生や卒業後3年以内の方を含む20歳代の若者とりわけ、男性を集客すること。

平成30年度に向けた改善策

(改善すべき点①)  
 平成30年度からは市内企業の人材確保を支援するため、新たな取り組みとして、職場見学会を開催することで、就職希望者と人材を求める市内企業からのニーズを各々把握し、マッチングすることで、モノづくり企業を始めとする市内企業への就職に結び付ける支援に取り組む。

(改善すべき点②)  
 昨年度、20歳代の若者の集客に効果的であった『JO部活』等のイベントを実施したり、広報に関しても、20歳代の若者の集客を意識し、SNS等のツールを活用し、ファクトリー施設の誘導へ繋げていく。  
 事業をより効果的に実施するために、同じフロアにあるハローワーク布施や隣接する布施子育て支援センター「ゆめっこ」、その他関係機関との連携を一層強化し、若者や女性の市内企業への就労を促進していく。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	10
----	--------------	-----	----

事業名	モノづくり立地促進補助事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	工業専用地域やモノづくり推進地域(工業地域と多くの準工業地域を指す)において、新たに製造業を営む場合や工場を建設する場合などに、土地・建物にかかる都市計画税および固定資産税相当額の一定割合の補助金を交付することで、製造業の立地と定着を図る。	A

H28 決算	27,274千円	H29 決算	77,854千円	提言・報告 施策	I ③			
--------	----------	--------	----------	-------------	-----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	補助事業活用による新規立地件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	3件	5件	5件	A	目標②				
実績①	8件	-	-		実績②				

事業実績  
(平成29年度)

補助対象期間が平成28年度より3年から5年に拡大したこともあり、年々相談件数や申請件数は増加している。平成30年度以降もさらなる相談、申請が見込まれる。

改善すべき点

市のホームページだけでは、制度の概要がわかりにくく、パンフレットを資料として制度の説明を行う必要がある。しせく説明会等を通じて、今後も制度の周知に努めていく。

平成30年度に向けた改善策

建築審査課、開発指導課等、他部署と連携し、制度の活用が可能などうか情報収集を行う。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	11
----	--------------	-----	----

事業名	住工共生のまちづくり事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	製造業集積の維持・継承に向けた環境づくりを積極的に推進しつつ、良好な住環境を確保することで、活力あふれる経済活動と快適な生活環境が両立したまちを実現していく。	A

H28 決算	24,958千円	H29 決算	80,612千円	提言・報告 施策	I③			
-----------	----------	-----------	----------	-------------	----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	1

指標①	補助金施策の活用実績率				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	80%	80%	80%	A	目標②				
実績①	80%	-	-		実績②				

事業実績 (平成29年度)	住工共生のまちづくり条例第11条に基づき特にモノづくり企業の集積を維持し、促進することが必要であると認める地区について、水走地区、高井田地区を選定し、両地区内の支援施策について検討を実施した。
改善すべき点	住工共生にかかる補助金施策について、事業用地継承支援対策補助金など、活用件数が少ないものがある。条例に基づき、施策等の実施状況を公表し、広く市民、モノづくり企業等の意見を求めるものとなっているが、本条例に関する意見が少ない。
平成30年度に 向けた改善策	住工共生のまちづくりの取り組みに関するPRや補助金制度等について環境部や建設局などの関係部局とも連携を取りながら、積極的に行う。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	12
----	--------------	-----	----

事業名	クリエイション・コア常設展示場出展支援事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	クリエイション・コア東大阪の1階、2階の展示場に市内企業が製品や技術を展示することに対して出展支援を行う。補助対象者は市内企業のみで、出展開始後2年間、月額出展料の3分の1以内で補助金を交付する。	C

H28 決算	593千円	H29 決算	461千円	提言・報告 施策	I④			
-----------	-------	-----------	-------	-------------	----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	支援企業数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	15社	15社	15社	C	目標②				
実績①	11社	-	-		実績②				

事業実績 (平成29年度)	機出展企業7社、新たに契約を結んだ市内企業は4社
改善すべき点	常設展示はMOBIOに視察に来られる方を対象に展示しているが、費用対効果は不明。
平成30年度に 向けた改善策	今後の展示視察等の動向を踏まえ検討する。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	13
----	--------------	-----	----

事業名	国内外販路拡大事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	市内製造業者の販路拡大を図るため、国内外における商談や交流の機会を支援する。また、パンフレット冊子およびWEBなどを活用したPR媒体を作成し、海外への情報発信を行う。	A

H28 決算	1,622千円	H29 決算	10,820千円	提言・報告 施策	I ④			
-----------	---------	-----------	----------	-------------	-----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

4 21

指標①	商談件数				指標②	有効配布部数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	100件	100件	100件	A	目標②	1,000部	1,000部	1,000部	A
実績①	390件	-	-		実績②	1,467部	-	-	
事業実績 (平成29年度)	市内のモノづくり企業に対する国内展示会の出展支援を通じて、390件の商談成約があった。また、海外向けパンフレットについては、日本貿易振興機構(ジェトロ)海外事務所や在大阪領事館等に配布した。さらに、映像や都市フォント、LINEスタンプなど国内外向けのコンテンツを製作した。								
改善すべき点	平成29年度はコンテンツの製作のみであったため、製作したコンテンツの速やかな発信が必要。								
平成30年度に 向けた改善策	インターネットを通じて、平成29年度に製作したコンテンツを世界に向け発信し、本市のモノづくりの認知度を向上を図る。								

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	14
----	--------------	-----	----

事業名	技術交流プラザ事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	市内製造業者の情報発信・販路開拓を支援するため、製造業検索サイト「東大阪市技術交流プラザ」を運営する。	B

H28 決算	4,684千円	H29 決算	9,069千円	提言・報告 施策	I ④			
-----------	---------	-----------	---------	-------------	-----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし

3

指標①	市内企業への問合せ件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	300件	330件	360件	B	目標②				
実績①	277件	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	(公財)東大阪市産業創造労働者支援機構の専門コーディネーターが企業訪問時に技術交流プラザの案内を行い未登録企業に対し積極的に登録の呼びかけを行う等、新規登録企業の促進を図ったところ73社から新規申し込みがあった。 1件でも多くの発注案件を呼び込むため、展示会への出展を行った。 サイトリニューアル後、登録企業を対象とした操作説明会を開催した。								
改善すべき点	新規申込みが73社と前年があったが、登録に至った件数は30社であり登録率が低い。 アクセス数が減少傾向にある。								
平成30年度に 向けた改善策	企業への積極的な広報 展示会への出展や広告事業による利用者数の増加 企業検索機能の最適化								

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	15
----	--------------	-----	----

事業名	東大阪ブランド推進事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	「東大阪ブランド」を本市モノづくり企業のフラッグシップと位置づけ、認定製品の発信を行い、『モノづくりのまち東大阪』の都市イメージ向上を図る。	D

H28 決算	3,216千円	H29 決算	1,892千円	提言・報告 施策	I④			
-----------	---------	-----------	---------	-------------	----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

4 21

指標①	ブランド新規認定製品数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	20製品	25製品	30製品	D	目標②				
実績①	6製品	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	平成29年11月1日、平成30年3月12日に東大阪ブランド認定審査委員会を開催し、6社6製品を認定した。また、東大阪ブランドについてモノづくり支援室のウェブ上で発信を行った。また、東大阪ブランド推進機構のウェブも刷新し、継続して発信を行っている。								
改善すべき点	平成29年度に東大阪ブランドの製品認定が、理事長認定から市長が認定するように仕組みが変わった。これに伴い、既存の理事長が認定した製品も市長認定に移行していく作業が必要である。								
平成30年度に 向けた改善策	昨年度から制度変更を行ったこともあるので、引き続き公募で製品認定を行いつつ、改善点を見極めたい。								

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	16
----	--------------	-----	----

事業名	モノづくりワンストップ推進事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	受注拡大サポートや、販路系・技術系コーディネーターによる積極的な企業訪問などにより、企業が抱える課題解決に向けた相談に応じる。	A

H28 決算	21,551千円	H29 決算	21,900千円	提言・報告 施策	I④	IV①		
-----------	----------	-----------	----------	-------------	----	-----	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし

3

指標①	企業訪問件数				指標②	マッチング件数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	1,200件	1,200件	1,200件	A	目標②	120件	120件	120件	A
実績①	1,685件	-	-		実績②	160件	-	-	
事業実績 (平成29年度)	今まで一度もコンタクトを取ったことがない小規模企業等を中心に、市の施策の広報などを行う企業訪問相談員を新たに4名配置するなど、技術コーディネーター、販路開拓コーディネーター、企業訪問相談員それぞれが明確なターゲットを設定し、積極的に企業訪問などを実施した。とりわけ企業訪問相談員においては、計画通り平成29年12月までに約2,300件のファーストアプローチ（訪問や架電）を終え、より個々の企業に応じた支援策の案内など引き続きセカンドコンタクトを進めている。								
改善すべき点	限られたマンパワーの中で、より高いパフォーマンスを発揮するため、各コーディネーターで得た情報の共有や連携を図りながら相談業務を進める必要がある。								
平成30年度に 向けた改善策	引き続き積極的に企業訪問を実施し、現状の把握や課題を抽出に務める。また、技術コーディネーターや販路開拓コーディネーターについては、高付加価値化促進事業や国内展示会出展支援事業など助成金の活用実績のある企業の伴走サポートに当たるなど、他の事業との連携を意識し、相談業務を進める。								

所属	経済部 商業課	No.	17
----	---------	-----	----

事業名	商業振興コーディネート事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	意欲ある事業者を想定しながら、新たな商業振興のあり方を試行し地域商業の活性化を図る。	A

H28 決算	4,500千円	H29 決算	2,900千円	提言・報告 施策	Ⅱ①	Ⅱ②	V①	V②
					V③			

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

指標①	事業効果があったとする対象店舗の割合				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	20%	25%	30%	A	目標②				
実績①	67%	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	平成29年度商業振興コーディネート事業については、ラグビーにちなんだ弁当、菓子を取り扱う事業者を支援対象とした「東大阪ショウテンス」について冊子改正やPR事業を行った。 ・「東大阪ショウテンス」冊子改正(新規3店舗の追加) ・チラシ、ポスター等の製作による掲載店舗の広報。								
改善すべき点	ラグビーにちなんだ弁当、菓子を取り扱う事業者の支援については2か年の支援を行い、店舗のPRや「ラグビーのまち」の魅力をPRする取り組みとして一定の成果があった。 今後についても、市内事業者や事業者グループの抱える課題の解決に向けて支援を行う事が求められている。								
平成30年度に 向けた改善策	平成30年度については、国や大阪府の政策による訪日外国人観光客数の増加に加えてラグビーワールドカップ2019の開催による外国人観戦者に対する市内事業者による受け入れ体制の向上が課題であるため、訪日外国人(インバウンド)対策のための支援を行う。								

所属	経済部 商業課	No.	18
----	---------	-----	----

事業名	地域密着型支援事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	商店街や小売市場等の小売商業団体が実施する魅力あふれる商店街づくりや、大学・地域などと連携して行う事業など、地域密着型の取り組みに対し補助金を交付することで、商業の活性化を図る。	C

H28 決算	14,524千円	H29 決算	12,047千円	提言・報告 施策	Ⅱ①			

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	にぎわいづくり事業実施団体数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	25団体	21団体	21団体	C	目標②				
実績①	19団体	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	市内商店街などの団体が、夜市やちびっこ祭りを行う場合、にぎわいづくり事業補助金を交付する。 ・瓢箪山中央商店街振興組合など19団体へ交付(連合団体含む)								
改善すべき点	実施団体の数を増やすとともに、商店街に継続的に足を運んでいただけるような工夫について検討してもらえよう周知したい。								
平成30年度に 向けた改善策	夜市等を通じて商店街に足を運んでもらい、商店街の魅力を再発見してもらうことにより、商店街の来店者増に繋げたい。								

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	19
----	--------------	-----	----

事業名	事業承継フォローアップ調査事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	近年、中小企業の経営者について、後継者がいない、事業承継が円滑に進まないなどにより、技術、技能等を含む貴重な経営資源を喪失してしまうなど事業承継は大きな課題となっている。本市においても、平成27年度に実施したモノづくり支援施策ニーズアンケート調査にて、事業承継に課題を抱えている事業所が多いことが明らかになり、今後、本市製造業集積を維持するためには、何らかの手立てを講じる必要がある。市内中小製造業の事業承継を巡る現状と課題を整理し、円滑な事業承継に向けた取組を調査分析することで、今後の本市のモノづくり支援施策立案の基礎資料とするため、本調査を行うものである。	A

H28 決算	-	H29 決算	500千円	提言・報告 施策			
-----------	---	-----------	-------	-------------	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

4 22 2

所属	経済部 商業課	No.	20
----	---------	-----	----

事業名	個店経営者育成セミナー事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	商業者や開業予定者を対象に、魅力ある個店づくりに必要なコンセプト作りや経営・財務・人材育成・販路開拓等の知識を身につける講座を開講するとともに、専門家(アドバイザー)を店舗に派遣する。	A

H28 決算	937千円	H29 決算	978千円	提言・報告 施策	V②	V③	
-----------	-------	-----------	-------	-------------	----	----	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし

指標①	対象事業所99件中、訪問や電話などでコンタクト取った件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	99件			A	目標②				
実績①	99件				実績②				
事業実績 (平成29年度)	事業推進員1名によるヒアリング調査を実施。 対象事業所：平成27年度に実施した市内中小製造業の事業承継に関する実態調査において、経営者の年齢が60歳以上で「事業承継の意思なし」と回答した89事業所及び「M&Aによる売却を検討している」と回答した10事業所。 調査票の回収：「事業承継の意思なし」70事業所（19事業所はヒアリング拒否及び廃業） 「M&Aによる売却を検討している」10事業所 具体的な報告事例については、上記回収事業所のうち、ヒアリングが実施できた24事業所。								
改善すべき点	事業承継に関連する課題は、後継者、経営状況、設備、雇用、取引先など個々の事業所により状況などが違い、多岐にわたることから、総合的なサポートとともに、個別の案件に丁寧に対応していく必要がある。この間の調査で把握した市内事業所の状況を、今後の支援施策に反映していく。								
平成30年度に向けた改善策	事業承継に関し、下記のとおり支援を実施し、市内企業の円滑な事業承継を図っていく。 (1) 事業承継総合相談窓口の開設(常設) (2) 訪問相談の実施 実態調査において、「事業承継の意思なし」と回答した事業所及び、事業承継を予定・検討している等と回答した事業所 (3) 事業承継に関するセミナーなどの開催 (4) 具体的な課題を抱えている事業所に対する専門家の派遣								

指標①	アドバイザー派遣により実効果があったと回答した割合				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	80%	80%	80%	A	目標②				
実績①	88%	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	平成28年度に引き続き中小企業診断士を講師に招いて全10回の講義を実施し、8件のアドバイザー派遣を行った。派遣先の業種は以下のとおり。 米屋(1店舗)×2回、飲食店(2店舗)×各1回、呉服店(1店舗)×1回、調味料ネットショップ販売(1店舗)×1回、美容室(1店舗)×1回、玩具店(1店舗)×1回。 全体的にベテランの商業者を中心に行われた。昨今の客離れや新規顧客獲得、人員不足などの課題に対し、現地に赴き各店舗の現状に応じたアドバイスを行い、講義だけでは補えない部分のフォローがなされたと満足度の高い結果となった。								
改善すべき点	新規・若手開業予定者からのアドバイザー派遣の希望がなかったため、できる限り個々の状況を把握し、それぞれに適した情報を提供しフォローしていく必要がある。								
平成30年度に向けた改善策	特に新規開業予定者にアドバイザー派遣を受けていただくため、セミナーの中で新規創業者の課題をしっかり掘り起こし、開業前に個々の必要な知識の獲得のためにアドバイザー派遣を受けていただくよう誘導する。								



所属	経済部 商業課	No.	21
----	---------	-----	----

事業名	空き店舗活用促進事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	商店街の空き店舗を活用して商業・サービス業の開業支援を図るため、開業の際の一部経費の補助やアドバイザーの派遣を行う。	C

H28 決算	3,921千円	H29 決算	1,232千円	提言・報告 施策	V③			
-----------	---------	-----------	---------	-------------	----	--	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

4 23

指標①	空き店舗活用促進事業実施団体数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	4件	4件	4件	C	目標②				
実績①	3件	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	空き店舗活用促進事業として商店街へ補助金を交付するとともに中小企業診断士によるアドバイザー派遣も実施した。 ・商店街の魅力を高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合(継続・飲食店) ・商店街の魅力を高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合(継続・サービス業) ・商店街の魅力を高める店舗：瓢箪山中央商店街振興組合(継続・物販)								
改善すべき点	商店街の不足業種の解消や魅力のある店舗の開業による商店街のにぎわいを生み出すため、新規創業者や開業予定者への制度周知や申請の手続きの簡略化が求められる。								
平成30年度に 向けた改善策	平成30年度は同補助金の補助対象者の条件や申請の手続き等を見直すとともに、より多くの創業者・開業予定者の支援となるよう活用を図る。								

所属	経済部 農政課	No.	22
----	---------	-----	----

事業名	都市農業活性化農地活用事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	農業団体や農家が行う農業者の振興・育成・活性化を図る事業、また、大阪エコ農産物の栽培を促進する取り組みに対して支援を行う。	A

H28 決算	32,261千円	H29 決算	31,134千円	提言・報告 施策	Ⅲ①	Ⅲ③	Ⅵ①	
-----------	----------	-----------	----------	-------------	----	----	----	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし

3

指標①	大阪エコ農産物栽培面積				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	1,400a	1,450a	1,500a	A	目標②				
実績①	2,847a	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	申請件数86件 補助金交付額31,134,000円								
改善すべき点	H29年度は目標を上回ったが、農家、耕作面積の減少が続いていることから、H30年に向けても実績が維持できるようにしていきたい。								
平成30年度に 向けた改善策	農業の振興及び農地保全に繋がる様、都市農業活性化農地活用事業の啓発に努める。								

所属	経済部 農政課	No.	23
----	---------	-----	----

事業名	ファーム花いっぱい咲かそう事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	休耕や耕作放棄となっている農地での花の栽培を促すとともに、エコ米生産者への堆肥活用による環境保全型栽培の取り組みを支援することにより、市内の農空間の環境と景観形成を進める。	A

H28 決算	3,364千円	H29 決算	2,243千円	提言・報告 施策	Ⅲ③	Ⅵ②		
-----------	---------	-----------	---------	-------------	----	----	--	--

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

4 23

指標①	花の栽培面積				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	50,000㎡	50,000㎡	50,000㎡	A	目標②				
実績①	68,294㎡	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	申請件数39件 補助金交付額2,243,000円								
改善すべき点	㎡当たりの補助額を平成28年度より減額したが、申請件数、栽培面積共に増加しているため、引き続きこの事業を行って行きたい。								
平成30年度に 向けた改善策	農家へ向けた広報をより一層、行って行きたい。								

所属	経済部 農政課	No.	24
----	---------	-----	----

事業名	農業啓発推進事業	平成29年度 目標達成度
事業概要	安全・安心な農産物を消費者に提供するために、大阪エコ農産物の生産を促進するとともに、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心を高めることで、地産地消の推進や農業の担い手の育成を支援する。	A

H28 決算	4,150千円	H29 決算	4,150千円	提言・報告 施策	Ⅲ①	Ⅲ②	Ⅲ④	Ⅲ⑤
					Ⅵ①	Ⅵ②	Ⅵ③	

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし

1

指標①	事業参加者数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	1,000人	1,000人	1,000人	A	目標②				
実績①	1,100人	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)	ファームマイレージ運動の推進により、地場農産物に対する市民・消費者の購買行動に繋げ、大阪エコ農産物生産者数の増加をもたらしている。								
改善すべき点	ファームマイレージ運動の推進により、年々実績が上がっている。今後も実績が上がるように継続していく。								
平成30年度に 向けた改善策	より一層、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心と理解を広め、高めることで、農地を守り農業を支えることに繋げていきたい。いも、The米づくりなどの啓発事業に多くの市民が参加できるように周知工夫をしていきたい。								